

【本校において目指す生徒像】（育む資質・能力、身に付けたい力など）

- ① 課題を発見し、解決するなど、様々な問題に対応する力を身に付けた生徒。
- ② 多様な考え方や価値観を許容し、自身の成長の糧とする主体的、協働的な態度を身に付けた心身ともにタフで自立した生徒。
- ③ 国際的な視野を持ち、自身の生涯の目標（夢）実現のために、難関大学や国立大学等を目指してひたむきに努力する生徒。

【学習指導方針（スクールポリシー）】

(1) 主体的・協働的な学習の積極的な導入とその深化・改善を図る。

各教科では単元に1回以上、生徒が根拠を明確にして自分の考えを説明したり、議論したりすることによって思考力・判断力・表現力を育成し、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業を展開する。また、教科会等で授業の手法や教材の共有化を図る。

(2) ICT 機器を積極的に活用し、動画の利用や情報伝達の効率化を図る。

生徒の理解を深めると同時に、授業の効率化によって生じた時間で発展的な課題に主体的に取り組ませる。

(3) 多様な学習機会を計画し、コミュニケーション能力の育成と自尊感情の高まりを図る。

必要に応じて地域や保護者との連携をとりながら、生徒が考えを広げ、深める学習の場を設定する。また、グループでの活動を重視し、生徒個々の自尊感情が高まるような協働的な学習を積極的に取り入れる。

(4) 国際社会・地域社会を牽引する人材に必要な学びの力を養成する。

社会に貢献する人材として欠くことのできない論理的思考力、表現力、言語運用能力等の養成が、日々の学習活動の中に体系的に組み込まれているかを常に分析・評価する。あわせて今後の高大接続改革に対処するため、3年間で生徒につけたい力を明確にし、それを踏まえた教科指導を継続して行う。